



ブラームスを考える

講師 桐朋学園大教授 西原稔

1860年、ブラームスは「新ドイツ派」を批判する記事を「ベルリナー・エコー紙」に寄稿し、リストらの音楽を批判します。この時期からブラームスははっきりと自身の創作の傾向を自覚するようになります。この4回の講座では1864年から1865年までの彼の創作を取り上げます。この時期のブラームスはシューベルトとバッハを集中的に研究していました。そしてその成果は「ピアノ五重奏曲」や「ワルツ集」、「チェロ・ソナタ第1番」に片影を見ます。このシリーズではこれらの作品を中心に取り上げます。(講師・記)

<スケジュール>

第1回 「ピアノ五重奏曲」を中心に

この時期にブラームスはシューベルトを集中的に研究していました。「ピアノ五重奏曲」はその成果と言えます。

第2回 「弦楽6重奏曲第2番」を中心に

「弦楽6重奏曲第2番」は第1番の伸びやかな世界とは対照的です。その背景にあったのは新しい調の思想です。この回では併せて歌曲も取り上げます。

第3回 「チェロ・ソナタ第1番」を中心に

「チェロ・ソナタ第1番」は、ブラームスのバッハ研究の成果です。

第4回 「ホルン三重奏曲」を中心に

ブラームスの創作においてホルンは特別の位置を占めていました。この回では「ワルツ集」も併せて扱います。

日 時 2019年 1/18、2/1、3/22、3/29 4回

金曜日 15:30 ~ 17:00

受講料 会員 12,960円(入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

一般 15,552円

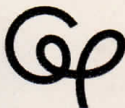
※入会金・受講料・教材費等は消費税8%を含む金額です。

※ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新
宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内私書箱22号
tel 03-3344-1945
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>

<講師紹介> 西原稔 (にしはら・みのる)

山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士過程満期退学。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。18、19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。「音楽家の社会史」、「聖なるイメージの音楽」(以上、音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「楽聖ベートーヴェンの誕生」(平凡社)などの著書のほかに、共著・共編で「ベートーヴェン事典」(東京書籍)、監訳・共訳で「オペラ事典」、「ベートーヴェン事典」(平凡社)などがある。現在、シューマンとブラームスに関する著作に取り組んでいる。

<過去の内容>

- 第1回 青年時代のブラームス
- 第2回 リスト訪問とヨアヒムとの交流の始まり
- 第3回 シューマン訪問
- 第4回 ブラームスのシューマン研究
- 第5回 ブラームスの新たな創作の試み
- 第6回 最初の歌曲の創作
- 第7回 ヨアヒムとの対位法学習と古楽への関心
- 第8回 ピアノ協奏曲第1番と不評
- 第9回 「セレナーデ第1番」とリート
- 第10回 「セレナーデ第2番」とハンブルク女性合唱団
- 第11回 「弦楽6重奏曲第1番」と「2つのモテット」
- 第12回 「ヘンデルの主題による変奏曲」を中心に
- 第13回 「ピアノ四重奏曲第1番」を中心に
- 第14回 「ピアノ四重奏曲第2番」を中心に
- 第15回 「シューマンの主題による変奏曲」(作品23)を中心に
- 第16回 「ティークのマゲローネの歌によるロマンス」を中心に

日 時 2019年11月25日(月) 18:30 ~ 17:00
会 費 15,000円(学生会員は2,400円) (注) 学生会員は別途申請
受 取 金 15,250円
※ 学生会員は別途申請
※ 学生会員は別途申請